

連載第12回

京大植物園観察会

■第49回 観察会のお知らせ

日時:4月19日(木)12:05~12:55(許可申請中)

『春爛漫』

ガイド:三原等さん(京都園芸倶楽部)

植物園前に集合してください。

第46回 京大植物園観察会レポート

2007年1月25日(木)12:05~12:55 晴れ

テーマ『シダの多様な生活』

ガイド:瀬尾 明弘(総合地球環境学研究所)



▲ベニシダ



▲ヤブソテツ



▲シダをさがして

シダというと被子植物のように目立った花をつけるわけではなく、非常に地味な存在という印象があります。しかし、よく見ると非常に多様な形態と生活をしています。今回は植物園に生育しているシダについてその多様性の一端を紹介させていただきました。

最初は無融合生殖をするヤブソテツとベニシダでした。これらは孢子から前葉体に生長をしてその後精子と卵が受精せずに葉を出していきます。その隣にいたイノモトソウは家の近くでよくご覧になっているようで、見たことがあるという声があちこちからあがりました。これには孢子葉と栄養葉という形の違う葉をつけます。入り口近くでちょっと時間をとってしまったので、少し駆け足で植物園の奥の方へ進みました。途中にベニシダとヤブソテツの株がたくさんあったので多様な形態を観察できました。その他に葉の表と裏が同じ色をしているリョウメンシダ、プラスチックのような葉をもつホソバカナワラビ、葉がでたときは毛むくじらのイノデ、ツル状に葉がのびていくカニクサなどを紹介して今回の観察会はあっという間に終わりました。

京大植物園を考える会 <http://members.at.infoseek.co.jp/bgarden/>

「ひとつまえにもどる」

Copyright (C) SCOOP. NET Kyoto-Univ CO-OP. All Rights Reserved..